

IBM Predictive Solutions Foundation on Cloud

ご利用条件(以下「ToU」といいます。)は、本「IBM ご利用条件 – SaaS 特定オファリング条件」(以下「SaaS 特定オファリング条件」といいます。)、および以下の Web サイトでご覧いただける「IBM ご利用条件 – 一般条件」(以下「一般条件」といいます。)で構成されています (URL:<http://www.ibm.com/software/sla/sladb.nsf/sla/tou-gen-terms/>)。

「SaaS 特定オファリング条件」と「一般条件」の規定に矛盾がある場合、「SaaS 特定オファリング条件」が優先して適用されるものとします。「IBM SaaS」の注文、そのアクセスまたは利用により、お客様は「ToU」に同意したものとみなされます。

「ToU」には、「IBM パスポート・アドバンテージのご契約条件」、「IBM パスポート・アドバンテージ・エクスペリエンスのご契約条件」、または「IBM SaaS 特定オファリングのご契約条件」のうち該当する契約条件(以下「本契約」といいます。)が適用され、これらと「ToU」を合わせて完全な合意として成立します。

1. IBM SaaS

以下の「IBM SaaS」オファリングに、これらの「SaaS 特定オファリング条件」が適用されます。

- IBM Analytics Solutions Foundation on Cloud
- IBM Predictive Maintenance on Cloud
- IBM Prescriptive Quality on Cloud
- IBM Predictive Warranty on Cloud
- IBM Analytics Solution Foundation Storage on Cloud
- IBM Analytics Solution Foundation Model Authoring on Cloud

2. 課金単位

「IBM SaaS」は、「取引文書」で規定された以下の課金単位のいずれかに従って販売されます。

- 「インスタンス」**は、「IBM SaaS」を取得する際の課金単位です。「インスタンス」とは、「IBM SaaS」の特定の構成へのアクセスを意味します。お客様の「証書 (PoE)」または「取引文書」に定める課金期間中にアクセスおよび利用することが可能な「IBM SaaS」の「インスタンス」ごとに十分な使用許諾を取得しなければならないものとします。
- 「資産」**は、「IBM SaaS」を取得する際の課金単位です。「資産」とは、管理対象となる、あらゆる有形リソースまたは項目をいいます。これには、実稼働設備、施設、輸送機関、IT ハードウェアおよび IT ソフトウェアが含まれます。「IBM SaaS」で固有 ID を保持するリソースまたは項目は、別個の「資産」となります。お客様は、「証書 (PoE)」または「取引文書」に定める課金期間中に「IBM SaaS」がアクセスまたは管理する「資産」をカバーするのに十分な使用許諾を取得しなければならないものとします。
- 「テラバイト」**は、「IBM SaaS」を取得する際の課金単位です。1 テラバイトは、2 の 40 乗バイトです。お客様は、お客様の「証書 (PoE)」または「取引文書」に定める課金期間中に「IBM SaaS」が処理する「テラバイト」の総数をカバーするのに十分な使用許諾を取得しなければならないものとします。
- 「アイテム」**は、「IBM SaaS」を取得する際の課金単位です。「アイテム」とは、「IBM SaaS」が処理、管理する、または「IBM SaaS」の利用に関連する特定のアイテムが 1 回発生することをいいます。「PoE」または「取引文書」に規定されている課金期間中、「IBM SaaS」が処理、管理する、または「IBM SaaS」の利用に関連する各「アイテム」をカバーするのに十分な使用許諾を取得しなければならないものとします。

「IBM SaaS」においては、「IBM SaaS」によって分析される「資産」または製品による各測定値が「アイテム」とみなされます。

3. 料金および課金

「IBM SaaS」に対する料金は、「取引文書」に記載されます。

3.1 1か月に満たない期間の料金

「取引文書」に記載された1か月に満たない期間の料金は、按分にて算定される場合があります。

3.2 超過料金

課金期間中のお客様の「IBM SaaS」の実際の利用が、「PoE」に記載される使用許諾範囲を超える場合には、お客様は、「取引文書」の規定に従い、その超過分について請求されます。

4. 期間および更新オプション

「IBM SaaS」の期間は、「PoE」に記述されるとおり、「IBM SaaS」へのお客様のアクセスについて、IBMがお客様に通知した日に開始します。「PoE」には、「IBM SaaS」が自動的に更新されるか、継続利用ベースで続行されるか、期間満了時に終了するかが記載されます。

自動更新の場合には、お客様が期間満了日の少なくとも90日前までに書面により更新しないことを通知する場合を除き、「IBM SaaS」は、「PoE」に定める期間につき自動更新されます。

継続利用の場合は、「IBM SaaS」は、お客様が90日前までに書面により終了を通知するまで、月単位で継続利用することができます。「IBM SaaS」は、かかる90日の期間後の暦月末日まで引き続き利用することができます。

5. テクニカル・サポート

サブスクリプション期間中に「IBM SaaS」に対して提供されるテクニカル・サポートは、<http://www.ibm.com/software/support/handbook.html>に掲載されている「SaaSサポート・ハンドブック」またはIBMが提供する後継のURLに定めます。テクニカル・サポートは「IBM SaaS」に含まれ、別個のオフアリングとして提供されるものではありません。

6. サービス・レベル目標

Prescriptive Quality on Cloudのサービス・レベル目標(SLO)は以下のとおりです。

- 予定された定期保守時間帯以外の可用性: 99%

サービス・レベル目標は目標であり、お客様に対してなんら保証するものではありません。IBMは、サービス・レベル目標を満たさない場合でも、お客様に返金、割引、またはその他の救済措置を行うものではありません。

このSLOは、いかなる方法であれ修正された「IBM SaaS」インスタンスには適用されません。これには、標準の「IBM SaaS」ソリューションの一部として提供された「IBM SaaS 成果物」へのカスタム開発と変更が含まれますが、これらに限定されません。

7. 「IBM SaaS」オフアリングの追加条件

7.1 イネーブリング・ソフトウェア

この「IBM SaaS」には、IBM Predictive Maintenance on Cloud オフアリングとの併用のためだけに提供される以下のイネーブリング・ソフトウェアが含まれます。

- IBM Cognos Framework Manager
- IBM Data Server Runtime Client
- IBM SPSS Modeler Premium
- IBM SPSS Collaboration and Deployment Services
- IBM SPSS Statistics
- IBM SPSS Data Access Pack
- IBM Integration Bus
- IBM ILOG CPLEX Optimization Studio

7.1.1 IBM SPSS Data Access Pack

「IBM SPSS Data Access Pack」は、「イネープリング・ソフトウェア」である「IBM SPSS Modeler Premium」による使用に限定して提供されます。

お客様がバックアップ、リカバリーおよび許可された構成など「IBM SPSS Data Access Pack」の管理機能を実行することを目的として「IBM SPSS Data Access Pack」にアクセスする場合を除き、お客様またはアプリケーション、プログラムもしくはデバイスのいずれも「IBM SPSS Data Access Pack」サービスの直接使用やサービスへの直接アクセスを許可されていません。

7.1.2 「イネープリング・ソフトウェア」の使用

お客様は、「SaaS 成果物」を修正または完全に新規の「SaaS 成果物」を作成する(以下併せて「カスタマイズされた SaaS 成果物」といいます。)場合にのみイネープリング・ソフトウェアを使用できます。

お客様による「IBM SaaS」へのアクセスが終了した場合、「SaaS 成果物」の使用も終了になります。また、お客様はお客様のシステムからすべての「SaaS 成果物」を削除し、すべてのコピーを破棄しなければなりません。

7.2 Cookie

お客様は、IBM が「IBM SaaS」の通常の運用およびサポートの一環として、トラッキングおよびその他の技術により、「IBM SaaS」の利用に関連してお客様(お客様の従業員および従契約者)から個人情報を収集することがあることを認識し、これに同意するものとします。IBM によるこのような情報収集は、ユーザー・エクスペリエンスの向上またはお客様との対話の調整を目的とし、「IBM SaaS」の有効性について使用統計および情報を収集するために行うものです。お客様は、IBM、その他の IBM グループ会社およびその従契約者が、営業活動を行う地域において、適用法に従い、IBM、その他の IBM グループ会社およびそれぞれの従契約者の範囲内で、収集した個人情報を前述の目的のために処理することができるよう、お客様が同意を取得すること、または取得済みであることを確認するものとします。IBM は、収集した個人情報へのアクセス、更新、修正または削除について、お客様の従業員および従契約者からの要求に従うものとします。

7.3 Derived Benefit Locations

該当する場合、お客様が「IBM SaaS」に関する利益を享受しているとお客様が特定する所在地の税金が適用されます。IBM は、お客様が IBM に追加情報を提供する場合を除き、「IBM SaaS」の注文時に主要な Benefit Location として記載した事業所住所に基づいて税金を適用します。お客様は、当該情報を最新状態に保ち、変更があった場合には IBM に通知する責任を負うものとします。

7.4 禁止事項

高リスク使用の禁止: お客様は、「IBM SaaS」の障害が生命の危険、重大な人身傷害もしくは重大な物的損害または環境被害を招く可能性のあるアプリケーションまたは状況(以下「高リスク使用」といいます。)で、「IBM SaaS」を利用しないものとします。「高リスク使用」には、航空機、またはその他の人の大量輸送手段、核施設、化学施設、生命維持装置、体内埋込型医療機器、自動車、または兵器システムが含まれますが、これらに限定されるものではありません。「高リスク使用」には、その不具合が生命の危険、重大な人身傷害もしくは重大な物的損害または環境被害につながるものない構成データ、エンジニアリングもしくは構成ツール、またはその他非制御アプリケーションを保管するための管理を目的とした「IBM SaaS」の利用は含まれません。これらの非制御アプリケーションは、制御を実行するアプリケーションと通信することはできませんが、制御機能には直接または間接に関与しないものとします。

7.5 使用制限

定義:

- a. 「IBM SaaS 成果物」とは「IBM SaaS」ユーザーの「IBM SaaS 成果物」リストに記載される成果物をいいます。「IBM SaaS 成果物」は事前に定義され、事前に構成されたさまざまな資料で、予測可能モデル、ビジネス規則、メッセージ・フロー、ビジネス・インテリジェンス・モデル、レポート、アクティブ・レポート、ダッシュボード、マスター・データ管理モデル構造、データ・スキーマを含みますが、これらに限定されません。

- b. **「資産」**とは、管理対象となる、あらゆる有形リソースまたは項目をいいます。これには、実稼働設備、施設、輸送機関、IT ハードウェアおよび IT ソフトウェアが含まれます。

お客様は、「IBM SaaS」を使用して、「IBM SaaS 成果物」を変更するか、または「IBM SaaS 成果物」を新規作成することができます(以下総称して「カスタマイズされた IBM SaaS 成果物」といいます。)

「IBM SaaS 成果物」および「カスタマイズされた IBM SaaS 成果物」は、本「IBM SaaS」と別個に使用することはできません。

お客様は、「カスタマイズされた IBM SaaS 成果物」に関していかなるサポート義務も負いません。

「IBM SaaS」の保証は、「カスタマイズされた IBM SaaS 成果物」には適用されません。

「IBM SaaS」は Predictive Maintenance on Cloud Data とのみ併用できます。Predictive Maintenance on Cloud Data は、お客様の「資産」に直接帰すことのできるデータ、またはコンテキスト・データを含む「資産」を分析するのに使用するデータです。

別紙 A

1. IBM Predictive Solutions Foundation on Cloud

本「IBM SaaS」は、基幹業務に関連する洞察を提供するために設計された、業界固有の新規コンテンツ、予測可能モデルの容易な開発、およびユーザー・エクスペリエンスを提供します。

新しいフィーチャーおよび機能には以下が含まれます。

- 容易な開発 – 対象分野の専門家 (オペレーションズ・エンジニアなど) が資産ライブラリーを活用して、IT やデータ・サイエンティストの支援を受けずに、クラウド上に正確なモデルを構築できるようにします。
- 業務指向 – IT やデータ・サイエンティストの関与なしで、運用アナリストに予測可能な保守の洞察を提供できるように調整された、クラウド・ベースの新たなユーザー・エクスペリエンスを提供します。

1.1 IBM Analytics Solutions Foundation on Cloud

本「IBM SaaS」は分析ソリューション用で、データの取り込みからスコアの予測、資産のプロファイル作成とビジネスに関する洞察の視覚化に至るまで、分析上のニーズに対処する事前構築済みのプラットフォームです。本「IBM SaaS」には、Predictive Maintenance on Cloud および Predictive Warranty on Cloud 用の 1TB のストレージが含まれます。

1.2 IBM Analytics Solution Foundation Storage on Cloud

本「IBM SaaS」では、「IBM SaaS」のストレージを 1TB 増分単位でサブスクライブするためのオプションが提供されます。

1.3 IBM Analytics Solution Foundation Model Authoring on Cloud

本「IBM SaaS」は、モデルやストリームの作成および処理に必要なクラウド・ベースの IBM SPSS Modeler Client 環境へのアクセスを提供します。

1.4 IBM Predictive Maintenance on Cloud

本「IBM SaaS」により、ユーザーは資産を監視、維持、最適化して使用率とパフォーマンスを改善できます。このシステムは、発生する前に障害パターンを自動検出し、将来の障害を予測して、保守や修繕のリソースを事前に展開できるようにします。

1.5 IBM Prescriptive Quality on Cloud

本「IBM SaaS」によって、ユーザーは製造に関する問題の根本的要因をよりよく理解し、製造に関する問題を解決する際の助けとなるデータからの知見を適用することができます。

IBM Prescriptive Quality on Cloud と共に、少なくとも 1 TB のストレージのサブスクリプションを 1 つ購入しなければなりません。

1.6 IBM Predictive Warranty on Cloud

本「IBM SaaS」によって、磨耗の加速につながる状況の検出が可能になり、保証請求を最小化することができます。

2. 個人情報および規制コンテンツ

本「IBM SaaS」サービスは、個人情報またはセンシティブ個人情報などの規制対象コンテンツに関する特定のセキュリティー要件に則して設計されているものではありません。お客様は、お客様が「IBM SaaS」に関連して使用するコンテンツのタイプについて、本「IBM SaaS」がお客様のニーズを満たすものかどうか判断する責任を負います。